

健都で 健康・医療 イノベーションを 起こしたくなったら 見るパンフ



北大阪健康医療都市

健都

KENTO



健康・医療のイノベーション拠点

北大阪健康医療都市【健都】

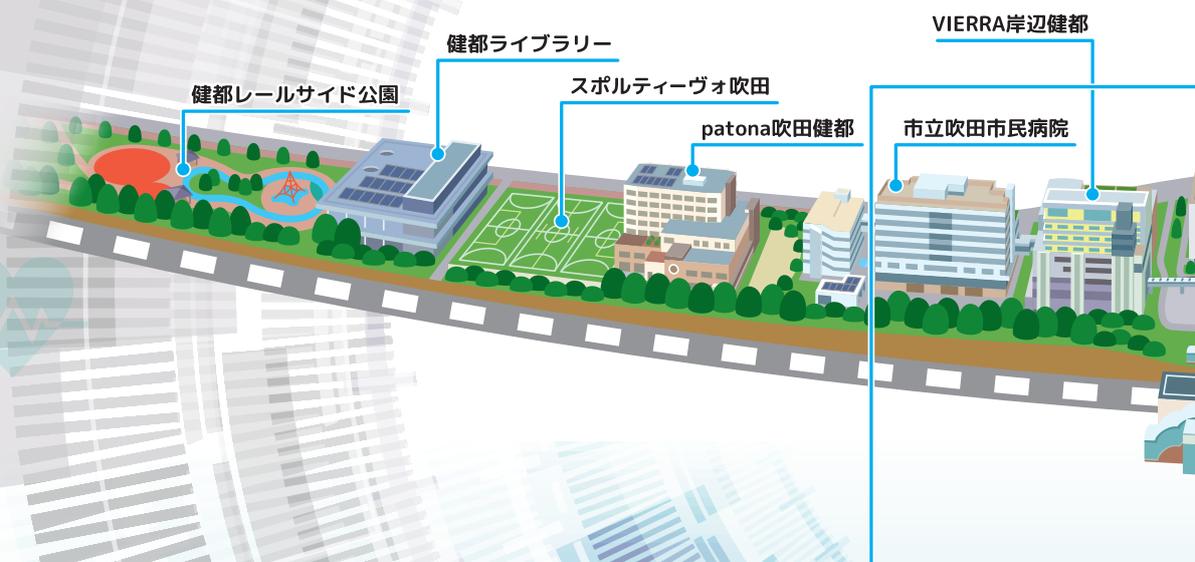
JR岸辺駅前に「健康と医療」のまちづくりを進めています

健都の特長

- 国循・健栄研という2つの国立研究機関が立地！
- エリア内に大規模マンションがあり、周辺が住宅地であるなど、地域住民との距離が近い！
- 公園、マンション、サービス付き高齢者向け住宅、商業施設など実証フィールドとなり得る施設が集積！



現在の健都



国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

国立循環器病研究センター(国循)は、**一つ屋根の下に「病院」「研究所」「オープンイノベーションセンター」を集約**。病院には、ハイブリッド手術室を4室設置するほか、ガンマナイフ、PETなどの最新機器を整備しており、研究所では最先端の研究を行っています。また、「オープンイノベーションラボ(OIL)」「オープンイノベーションセンターウェットラボ(OWL)」等を整備し、企業・研究機関等との共同研究を推進しています。



「健都」の住民として地域・健康に貢献

国循は、オープンイノベーションセンターが中心となり、健都ならではの多様な連携と取り組みを進め、健都が**健康寿命の延伸で世界をリードするモデル地区**となることに貢献します。

新大阪駅から7分、 大阪駅から12分の好立地!

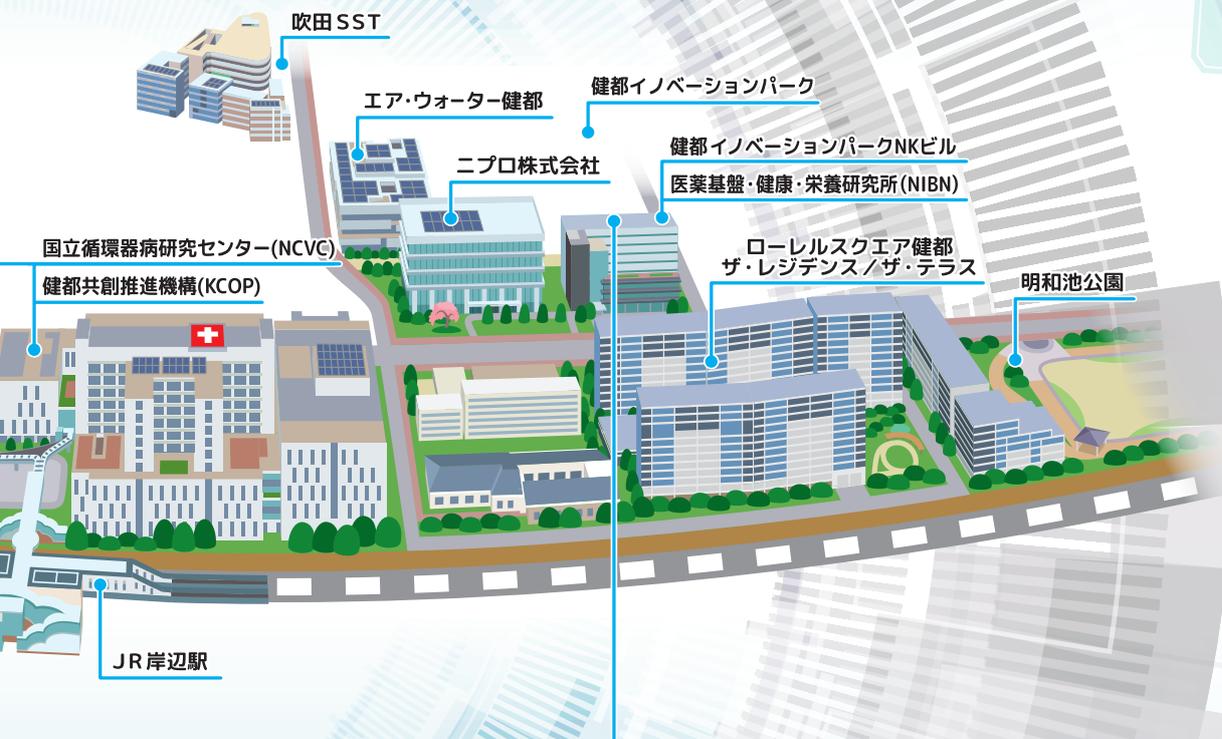


北大阪健康医療都市

健都

健都のめざす姿

- 健康医療関連企業・機関の集積
- 健都内外での連携（共同研究・開発、ビジネスマッチング等）が次々と生み出される仕組みの構築
- 住民との近接性や様々な施設を活かした、**新たな製品・サービス開発段階での産学官民連携、実証の機能**
- 国循、健栄研の持つ**豊富なデータ・知見を活用した産業創出**



国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所

医薬基盤・健康・栄養研究所は、平成27年の独立行政法人医薬基盤研究所と国立健康・栄養研究所（健栄研）との統合によって生まれた研究所です。健都に所在する健栄研は、国立の研究機関として、1920年の設立以来、国民の健康保持や栄養に関する調査及び研究を行い、公衆衛生の向上や増進を目的としています。



健康をかなえる ささえる 研究所

大阪移転に伴い、彩都（大阪府茨木市）に位置する医薬基盤研究所との協働をさらに深め、融合領域の研究テーマをより一層発展させていきます。また、地元自治体や企業、大学等と産官学連携を推進していきます。

国立循環器病研究センター

オープンイノベーションセンター(OIC)

これまでに蓄積してきたバイオバンク、創薬オミックス解析センター、情報利用促進部などの知的財産、リソース、データをもとに産学連携によるオープンイノベーションを推進しています。共同研究拠点となる「オープンイノベーションラボ」や、交流・情報拠点となる「サイエンスカフェ」を整備し、独自の取り組みを行っています。

オープンイノベーションラボ (OIL)

● **国循と企業・研究機関等が共同研究を始めとする研究開発等を行う拠点**として設置した研究室
(最大 29 ユニット、約 1,700 ㎡)

● OILだからできること

- ・柔軟かつ迅速な研究の推進
- ・国循OIL研究員としての活動
- ・国循研究員の共同研究専任としての雇用
- ・様々な情報提供および相談
- ・OILについてはこちらをご覧ください

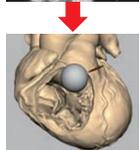
https://www.ncvc.go.jp/oic/science_cafe/open_innovation_lab/



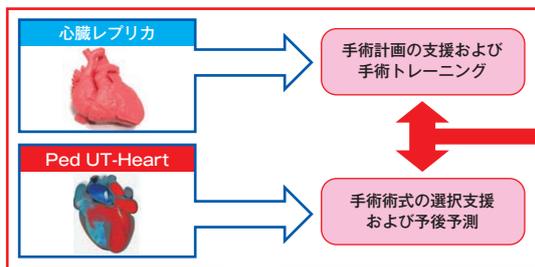
共同開発事例

- 東京大学および UT-Heart 研究所で開発された、患者個人の心臓をコンピュータ上で忠実に再現できる「UT-Heart」を基盤に、患者の CT 画像から 3D プリンティング技術を駆使した「心臓レプリカ」の画像処理技術を融合させ、小児先天性心疾患に特化した新しい「Ped UT-Heart」を開発。
- コンピュータ上で再現された心臓モデルを用いることで、病態を解明するとともに、様々な治療オプションをコンピュータを用いて試した上で、患者に最適な治療方針を提案する。

臨床 3 次元画像データ



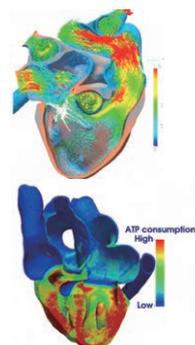
心臓血管の抽出



医学生・医療スタッフの教育、患者、家族への説明

複雑先天性心疾患患者の生涯にわたる QOL の改善

再手術回避による医療費節減の可能性



Kariya et al., Ann Biomed Eng. 2020;48:1740-50.

国循 × クロスメディカル × 東京大学 × UT-Heart 研究所 × Q'sfix

サイエンスカフェ

国循をはじめ、OIL・健都イノベーションパーク進出企業はもとより、多様な企業・研究機関の研究者等の交流の場

- オープンイノベーションの実現に向けて、様々な人たちが集い・交わる場と機会を提供 -

□ 主な機能

- ・小休憩、カジュアルなミーティング、個人ワークの場(軽飲食等も可)
- ・異業種交流等を促進するためのセミナー、勉強会等の開催
- ・フォーマルな会議の開催(5室のセミナー室の貸出)
- ・国循との連携に関する相談



サイエンスカフェでは、会員に対して様々な限定サービスを提供しています。

https://www.ncvc.go.jp/oic/science_cafe/science-cafe/



国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所



主な研究テーマ・内容

大阪府摂津市民の健康・栄養とウェルビーイングに関する縦断調査

本研究は、摂津市が進める「健康・医療のまちづくり」の一環として、摂津市の健康課題をライフコース別に明らかにするための、健康・栄養とウェルビーイングに関する大規模コホート研究です。

■ 摂津市の健康課題(例)

- 平均寿命と健康寿命の差が、男性では大阪府と同程度であるが、女性は大阪府より大きくなっている。
 - 急性心筋梗塞の標準化死亡率(SMR)が全国と比較して高い。
 - 糖尿病患者(国保)の割合が全国と比較して高い
 - メタボリックシンドローム予備群の割合が微増傾向である。
- ※摂津市データヘルス計画(第3期)及び健康せつ21(第3次)より

連携



■ 国立健康・栄養研究所の強み

- 栄養・身体活動・エネルギー代謝などに関する調査研究を通じて、国の健康政策に貢献
- 医薬基盤研究所と合併したことによる、生活習慣と腸内細菌叢とのメタデータ分析が可能



【出典】大阪府摂津市民の健康・栄養とウェルビーイングに関する縦断調査(摂津スタディ)
(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)
https://www.nibn.go.jp/eiken/settsu_study/

■ これまでの主な取組

- 摂津市民への運動・食事・社会参加等に関する大規模調査を実施
- 調査結果を市の広報紙を通じて、市民に報告
- 調査結果を踏まえて、個人の健康状態を精密に評価するため、より詳細な測定や検査を実施

【今後の展望】

一人ひとりの栄養状態や健康状態を詳しく評価し、食事・代謝を軸にして、生活習慣と生体機能を統合解析することにより、ライフコースに応じた0次予防に関わる要因を探索し、科学的根拠に基づく栄養・健康支援につながる研究を行っていきます。

食環境整備推進のための産学官等連携共同研究プロジェクト

「人生100年時代」を見据えて、健康寿命の延伸を実現するためには、産学官が一体となって食環境を整えることが必要です。本プロジェクトでは、**健康への意識が高い人だけでなく、すべての人が、意識せず、自然に健康になれる食環境モデル**を構築することを目指し、当研究所と食品企業が連携し、本プロジェクトを実施しています。



【出典】加工食品・料理レシピ共創データバンク・ジャパン
(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)
<https://www.nibn.go.jp/eiken/frdb/>

■ これまでの主な取組

- 1.加工食品・料理レシピ共創データバンク・ジャパンの構築
加工食品、料理の栄養素等の含有量をデータベース化し、日々摂取している栄養素のより正確な把握が可能。
 - 2.日本版栄養プロファイリングモデル(加工食品版・料理版)※の活用
日本の食生活・食文化を踏まえた料理レシピで日本版栄養プロファイリングモデル(加工食品版・料理版)の検証を進め、改良に向けた課題を示した。
- ※栄養プロファイリングモデル:食品の栄養価を数値化し評価する仕組みで、健康的な食品の開発や消費者の食品選択に資するツール。

ヒトを対象としたエネルギー代謝に関する基盤的研究

ヒューマンカロリメーターや二重標識水法などを用いて、日常生活におけるエネルギー消費量の推定法を検討し、「日本人の食事摂取基準」における「推定エネルギー必要量」の策定に資する調査研究を行います。また、安静時や活動時におけるエネルギー代謝(エネルギー消費量や基質利用)、および食事を含めたエネルギーバランスの制御機構や変動要因に関する調査研究を行います。

■ ヒューマンカロリメーター

- 部屋の中でエネルギー消費量やエネルギー源(基質)を精密に計測可能な機器
- 高性能な質量分析計を採用し、時間分解能にも長け、微細な変動を抽出し解析が可能



■ 民間企業との連携(一例)

ソフトウェア関連企業
健康増進を目的としたビデオゲーム『WiiFit』シリーズの開発のために
任天堂株式会社と共同研究を実施

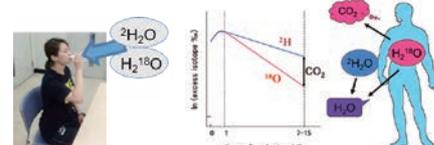


【Wii Fit Plus】(発売元:任天堂株式会社)

ゲーム実施によるエネルギー消費量の表示機能の組み込みにあたって、身体活動時のエネルギー消費量の測定に関する研究成果を活用

■ 二重標識水法

- 安定同位体を用いて日常生活下で習慣的なエネルギー消費量を精密に評価可能な方法



一般社団法人 健都共創推進機構

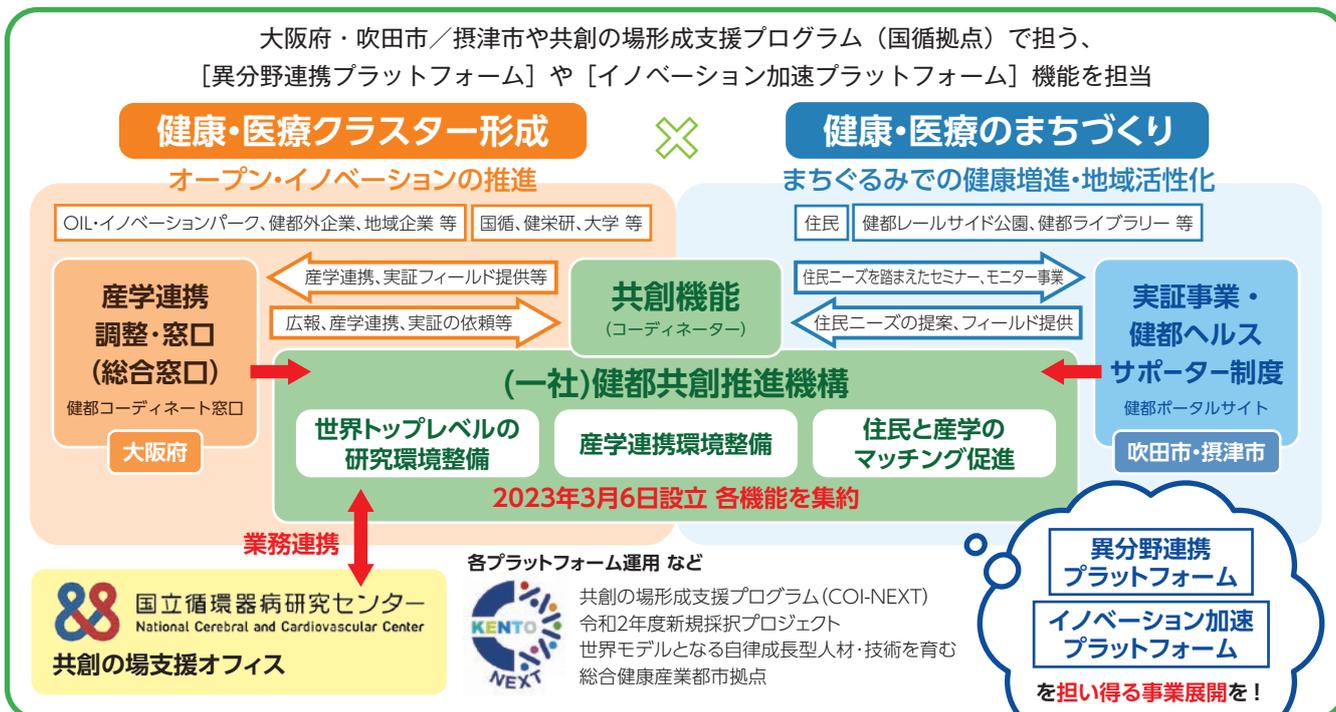
General Incorporated Association KENTO Co-Creation Promotion Organization(KCOP)



健都での産学官民連携の窓口機能・調整機能を担います！



『健都共創推進機構』は、北大阪健康医療都市（「健都」）を中心とする総合健康産業都市拠点で行われる**研究開発活動の成果を効率的に住民・市民に還元することの支援**を目的のひとつとして設立された団体です。大阪府や吹田市／摂津市と協力して、産学官民の連携・調整を図り、**社会実装の推進を通じて健康まちづくり**を支えたいと考えています。

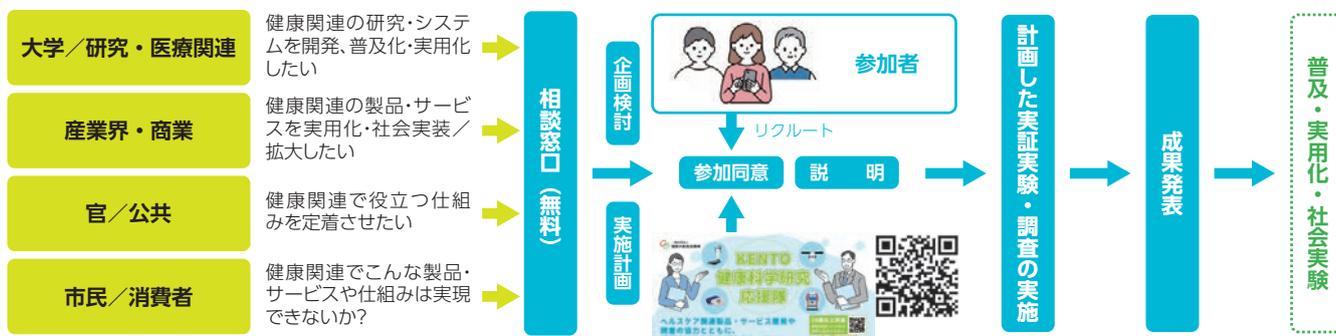


■KCOPウェブサイト
<https://co-creation.ken-to.jp/kcop/>



■健都ポータルサイト
<https://co-creation.ken-to.jp/>

「地域実証事業」の概要



相談・お問い合わせ

健都についてもっと詳しく知りたい!!はもちろん、健康や医療に関連する、製品・サービス・仕組み／システムの企画、研究開発、事業開発、実用化・社会実装や普及・啓発に関するの支援・協業など、幅広い相談・お問い合わせを受け付けています。

右のQRコードでリンクしている健都ポータルサイトの[相談・お問い合わせ]ページの選択肢やフォーム等に必要事項を入力・記入いただき、「確認画面へ」ボタンを押して内容をご確認のうえ、送信してください。

※ 健康相談や治療に関する問い合わせ・相談等については受け付けておりません。ご了承のほどお願い致します。



健都イノベーションパーク

健都の医療クラスター形成に参加する企業のための区画

ウェットラボにも対応した貸ラボ・オフィスや交流施設で、新規参入企業の様々なニーズに対応



健都イノベーションパークNKビル

3階から7階にウェットラボにも対応した賃貸ラボやオフィス区画を整備しており、大小さまざまな企業の入居ニーズに応えます。1Fのク・ラスターラウンジは、セミナーや研究会の開催など、情報発信・交流の場としての役割に加え、オープンイノベーションの促進や研究交流拠点として活用されています。



ターンキーラボ健都



「ターンキーラボ健都」は細胞培養や遺伝子解析が可能な設備と機器が揃う P2/BSL2 対応のシェアラボで、初期投資を抑えてすぐに研究を始めることが可能です。施設内にはスタッフが常駐し、日常業務や機器メンテナンス等、日々の研究をサポートします。また、実験スペース以外にも、サロンや会議室、ドリンクコーナーを完備し、快適なワーキングスペースを提供しています。加えて、セミナーが定期的に開催され、研究に役立つ学びの場、交流の機会としても活用可能。生物系のベンチャーや大学・研究所の方だけでなく、工業部品、電子部品、機器製造、素材メーカーなど幅広い業界の方が利用されています。

ニプロ株式会社

当社は「医療機器」「医薬品」「ファーマパッケージング」「再生医療」の4事業を国内外で広く展開しています。1954年の設立以来、「事業活動を通じた社会貢献」を理念に、世界中の患者さんや医療従事者のニーズに応える商品・技術を提供してきました。2023年には健都イノベーションパークへ本社を移転し、産学官民の連携強化や地域貢献等に取り組んでいます。これらを通じ地域と共に成長し、世界中で医療に貢献する「和ごころをもった真のグローバル総合医療メーカー」として歩みを進めていきます。



<取り組み事例>

- 本社ビルにおけるレンタルラボなど開かれた研究環境を提供。
- セミナーや展示会、講演会等に幅広く利用可能なホールや会議室を整備するなど、充実した貸出施設を提供。
- コンビニエンスストアを設置し、地域の利便性向上と交流促進に貢献。

エア・ウォーター健都 (エア・ウォーター株式会社)

「エア・ウォーター健都」は医療と食の融合による Well-being 社会の実現を目指す当社ウェルネス分野の研究開発・共創の拠点です。

1階ではバイタル測定エリアを設けており、来場者が自由に自身の健康状態をチェックできる環境を整備。取得した測定データはAIが分析、個々の状態に応じた食事メニューを提案し、隣接するカフェで提供しています。取得した測定データや体験者の声はウェルネス関連の製品開発に活かしており、実証実験やマーケティングの場となっています。また、他社や地域との連携も行いながら健康関連のイベントも実施。地域の方々や企業・大学等のウェルネス関係者も気軽に訪れることができる創造・開発・発信の場として、今後も取り組みを強化していきます。



健都イノベーションパークは 成長産業特別集積税制(成長特区)の対象区域です!

※優遇措置の適用を受けるためには要件がありますので、詳細はお問い合わせください

対象区域でライフサイエンス等に関する事業を行った場合に府税を軽減
不動産取得税 ⇒ 最大で100%軽減! 大規模投資ほど有効!

法人府民税・法人事業税 ⇒ 最長で10年間続く軽減措置!

摂津市の奨励金制度との併用でさらにお得に!



お問い合わせ先

大阪府 商工労働部 成長産業振興室 ライフサイエンス産業課
TEL:06-6210-9818
E-mail:life-science@sbox.pref.osaka.lg.jp
<https://osaka-bio.jp/>



健都に関する最新情報はコチラ
<https://co-creation.ken-to.jp/>



国立循環器病研究センターの最新情報はコチラ
<https://www.ncvc.go.jp/>



医薬基盤・健康・栄養研究所の最新情報はコチラ
<https://www.nibn.go.jp>

